



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月8日

東

上場会社名 株式会社LOIVE

上場取引所

コード番号 352A

URL <http://loive.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 前川 彩香

問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部GM（氏名） 代田 将己（TEL）（011）-299-2730

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	2,417	—	△93	—	△128	—	△91	—
2025年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△7 31	—
2025年3月期第1四半期	—	—

1. 当社は、2025年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の数値及び2026年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失を計上しているため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		％
2026年3月期第1四半期	8,426		1,889		22.4
2025年3月期	7,892		1,636		20.7

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 1,889百万円 2025年3月期 1,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0 00	—	0 00	0 00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	5,259	32.7	0	△99.9	△28	—	△28	—	△2 28
通期	12,315	45.0	1,420	41.4	1,369	47.2	914	82.8	72 55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	12,629,871株	2025年3月期	12,329,871株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	-株	2025年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	12,557,344株	2025年3月期1Q	-株

（注）2025年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の期中平均株式数（四半期累計）は記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）における我が国の経済は、深刻化する人手不足を背景に賃金の伸びが拡大するなど雇用・所得環境が改善し個人消費が持ち直したことを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の関税政策の影響や中国経済の低迷に加え、エネルギー価格や原料価格は高止まりしており景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属するフィットネス業界は、総合型（プール、ジム、スタジオを兼ね備えたフィットネススタジオ業態）とブティック型で構成されます。過去20年にわたり、ブティック型を中心に新規参入が活発化し、市場規模は拡大傾向にあります。顧客ニーズの変化や嗜好の多様化に応じて、総合型からブティック型にトレンドがシフトし、新業態やブランドの参入を契機にフィットネス人口が広がり、市場は拡大基調にあります。コロナ禍で一時停滞したものの、人々の健康志向の高まりや高齢化により、海外市場との比較も踏まえると、市場拡大のトレンドは継続すると見込んでおります。

このような状況において、当社は「自分を愛し、輝く女性を創る。」をミッションとし、女性向けのブティック型フィットネススタジオを運営しており、2025年6月末現在で日本全国に164店舗を事業展開しております。

当社は「グルーブレッスン形式」のブティック型スタジオを運営しております。グルーブレッスン形式の店舗は1店舗あたり65～80坪程度と小規模であることから初期投資を抑制することができ、小規模故に出店物件は豊富に存在することから、多店舗展開を進めやすい点が特徴です。また、1つのスタジオにおいて、1人のインストラクターが平均20名から30名の会員様に同時にレッスンを提供することができるグルーブレッスン形式は、人件費効率の良いビジネスモデルというのも特徴です。このような特徴を有するグルーブレッスン形式の店舗を全店直営形態で展開することで、高い収益性が実現できるビジネスモデルとなっております。

当第1四半期累計期間は、拡大するピラティス市場でのシェアを最大化するために、ピラティスKを14店舗出店し、新規出店を加速しました。また、定期購入を中心に物販販売を強化するとともに、新レッスンの導入やUI/UXの強化など、LTV向上に向けた取り組みを実施しました。さらに、公休10日制の導入や給与ベースアップなどにより社員の待遇をアップデートし、カルチャー強化に努めました。

当社は事業拡大のために、店舗数及び会員数を重要な指標と位置付けております。なお、当社が重視している指標の状況は以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期 (2025年6月30日)
店舗数	150	164
会員数（万人）	6.2	6.8

当社はブティックスタジオ事業の単一セグメントであり、セグメント情報は記載しておりませんが、当社が展開しているブランド及び店舗数は以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期 (2025年6月30日)
ホットヨガスタジオ 「loIve（ロイブ）」	64	64
マシンピラティス専門スタジオ 「pilates K（ピラティスK）」	80	94
その他	6	6
合計	150	164

以上の結果、当第1四半期累計期間においては、ピラティスKの新規開設で会員数が増加し、売上高は2,417百万円となりました。一方で、新規出店のコストや今後の出店に向けた新入社員の入社等により、営業利益は△93百万円、経常利益は△128百万円となり、四半期純利益△91百万円となりました。

なお、当社は2025年8月1日付で、商号を「株式会社LIFE CREATE」から「株式会社LOIVE（ロイブ）」に変更いたし

ました。創業ブランドであるホットヨガスタジオ「loIve」は、もっと自分を好きになる、をコンセプトに「愛 (LOVE) の真ん中に私 (I) がいる」を表現した造語となります。今回の商号変更によって、当社企業理念である「自分を愛し、輝く女性を創る。」をより明確にメッセージ発信し、ブランド価値の向上と市場での競争力強化を目指してまいります。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末の資産合計は、新規出店を増加したこと等により前事業年度末に比べて534百万円増加し、8,426百万円となりました。流動資産は、前渡金が減少したこと等により前事業年度末に比べて12百万円減少し、2,906百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が418百万円増加したこと等により前事業年度末に比べて546百万円増加し、5,519百万円となりました。

負債合計は、前事業年度末に比べて280百万円増加し、6,536百万円となりました。

純資産合計は、資本金及び資本準備金が172百万円増加したことにより前事業年度末に比べて253百万円増加し、1,889百万円となりました。

この結果、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は22.4%（前事業年度末20.7%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,520,434	1,471,527
売掛金	829,242	890,702
商品	140,952	155,998
前渡金	260,310	171,843
前払費用	189,919	227,128
その他	8,421	19,015
貸倒引当金	△29,974	△29,636
流動資産合計	2,919,306	2,906,578
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	3,407,816	3,809,017
工具、器具及び備品（純額）	227,613	274,210
リース資産（純額）	8,463	7,717
建設仮勘定	21,200	-
その他（純額）	58,723	51,426
有形固定資産合計	3,723,817	4,142,372
無形固定資産		
ソフトウェア	16,585	22,723
無形固定資産合計	16,585	22,723
投資その他の資産		
出資金	100	80
長期前払費用	35,833	41,906
差入保証金	985,344	1,087,685
繰延税金資産	210,428	224,110
その他	658	633
投資その他の資産合計	1,232,366	1,354,415
固定資産合計	4,972,769	5,519,511
資産合計	7,892,075	8,426,089

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,985	24,451
1年内返済予定の長期借入金	617,269	839,163
未払法人税等	396,124	-
リース債務	2,996	3,011
未払金	592,421	420,622
賞与引当金	94,035	99,462
未払費用	210,084	283,802
契約負債	899,735	1,006,564
預り金	13,817	70,947
その他	101,040	76,087
流動負債合計	2,971,509	2,824,112
固定負債		
長期借入金	2,761,475	3,152,777
リース債務	5,650	4,892
資産除去債務	481,187	519,899
その他	35,757	34,673
固定負債合計	3,284,071	3,712,242
負債合計	6,255,581	6,536,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	394,997	567,497
資本剰余金		
資本準備金	590,747	763,247
その他資本剰余金	208,750	208,750
資本剰余金合計	799,497	971,997
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	442,000	350,240
利益剰余金合計	442,000	350,240
株主資本合計	1,636,494	1,889,734
純資産合計	1,636,494	1,889,734
負債純資産合計	7,892,075	8,426,089

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,417,871
売上原価	1,675,695
売上総利益	742,176
販売費及び一般管理費	835,446
営業利益	△93,269
営業外収益	
受取保険金	30
その他	71
営業外収益合計	101
営業外費用	
支払利息	13,786
支払手数料	1,070
上場関連費用	10,351
その他	10,065
営業外費用合計	35,273
経常利益	△128,441
特別損失	
事務所移転費用	3,060
特別損失合計	3,060
税引前当期純利益	△131,502
法人税等	△39,741
当期純利益	△91,760

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用は、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ブティックスタジオ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年4月24日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場に当たり、2025年4月23日を払込期日とする一般募集による新株式300,000株の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ172,500千円増加しております。

その結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が567,497千円、資本準備金が763,247千円になっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	106,219千円

(重要な後発事象)

(資本金の額の減少)

当社は、2025年6月26日開催の定時株主総会において、資本金の額の減少について決議し、2025年8月1日に資本金の額を減少いたしました。

1. 資本金の額の減少の目的

今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として行うものであります。

2. 資本金の額の減少の内容

会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

(1) 減少後の資本金の額

資本金567,497,010円のうち、557,497,010円を減少し、10,000,000円といたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額の全額を、その他資本剰余金に振り替えます。

(3) 財務諸表に与える影響

「純資産の部」における勘定科目内の振替処理であるため、純資産額及び発行済株式総数の変更はなく、業績に与える影響はありません。